



ド

ル

ポ

Thematic Exhibition

Dolpo

A Tibetan Cultural Sphere
in the Western Nepal Highlands

2026年3月12日[木] - 6月16日[火]

会場/国立民族学博物館 本館企画展示場

開館時間/10:00~17:00(入館は16:30まで)

休館日/毎週水曜日 ※水曜日が祝日の場合は直後の平日

[主催]

国立民族学博物館

[特別協力]

武蔵野美術大学 美術館・図書館 民俗資料室

[協力]

堺市博物館、Dolpo-hair、公益財団法人千里文化財団

[後援・事業認定]

日本外務省、公益社団法人日本ネパール協会、
公益社団法人日本山岳会、チベット文化研究会

[協賛]

(株)フェニックス・エンターテインメント・ツアーズ、(株)西遊旅行



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology



ツァルカ村 (2016年、撮影：稲葉香)



ヤクのキャラバン (2012年、サング村北西、撮影：稲葉香)



キャラバン出発前にヤクを祝福 (1968年、撮影：西部ネパール民族文化調査隊)



ボンモ村とカンチュンネ山 (1968年、撮影：西部ネパール民族文化調査隊)



バクチャム (仮面舞踊) (1958年、ツァルカ村、撮影：大森栄) X0217083

関連イベント

●ワークショップ

「道具から知るネパール高地の暮らし——ドルポの食文化体験」
日時：3月14日(土) 13:30～15:50 場所：企画展示場他 定員：10名
講師：稲葉香、南真木人(本館教授)、工藤さくら(本館特任助教)

●みんなくゼミナール

「ドルポに魅せられて」
日時：3月21日(土) 13:30～15:00 場所：第5セミナー室他(ライブ配信あり)
講師：稲葉香、南真木人

●みんなくウィークエンド・サロン

「ネパール探究(探求+研究)——女性たちのフィールドワーク」
日時：3月29日(日) 14:30～15:30 場所：ナビひろば 話者：稲葉香、工藤さくら

「ドルポと日本人」
日時：4月26日(日) 14:30～15:30 場所：ナビひろば
話者：稲葉香、末森薫(本館准教授)

●みんなく映画会

「秘境ヒマラヤ」(1960年、大森栄撮影、西北ネパール学術探検隊監修)
日時：4月12日(日) 13:30～16:00 解説：稲葉香、南真木人、末森薫、工藤さくら
(鳥葬などセンシティブな内容が含まれます)

●友の会講演会

「変わるドルポ——ボンモ村の半世紀」
日時：5月2日(土) 13:30～15:00 場所：第5セミナー室
参加費：一般500円 講師：南真木人

※各イベントの詳細はホームページでご確認ください。



ご利用案内

開館時間 10:00～17:00 (入館は16:30まで)
休館日 水曜日(水曜日が祝日の場合は直後の平日)
観覧料 一般780円／大学生340円／
高校生以下 無料
※観覧料割引については
ホームページでご確認ください。

交通のご案内

大阪モノレール 「万博記念公園駅」、
「公園東口駅」下車徒歩約15分
バス 阪急茨木市駅・JR茨木駅から
「日本庭園前」下車徒歩約13分
乗用車 万博記念公園の駐車場(有料)を
ご利用ください。最寄りの「日本庭園前
駐車場」から徒歩約5分

※大学生・一般の方は万博記念公園各ゲートで、当館の観覧券をお買い求めください。同園内を無料で通行できます。※高校生以下の方、国立民族学博物館友の会会員の方は万博記念公園各ゲート有人窓口で、みんなくへ行くこととお申し出いただき、通行証をお受け取りください。※万博記念公園をご利用になる場合は、同園入園料が必要です。

ドルポ 西ネパール高地のチベット世界

Thematic Exhibition, Dolpo: A Tibetan Cultural Sphere in the Western Nepal Highlands

ドルポとは西ネパールのドルポ郡の北に広がる高地のことです。乾いた大地にチベット仏教やそれ以前のボン教の僧院や仏塔が散在し、「天界」のような空間をなしています。標高3,200～4,200メートルにある村々までの生活は、農牧とチベットとの交易でなりたってきましたが、近年、中国(チベット)側から道路が伸びて急激に変化しています。本企画展ではドルポをくまなく歩いてきた写真家・稲葉香の珠玉の写真と、川喜田二郎が率いた1958年の探検隊や田村善次郎が率いた1968年の調査隊が収集した民具や写真、情報などを展示し、ドルポの現在と変容の軌跡を探ります。

1900年/河口慧海

堺出身の僧侶・河口慧海が梵語仏典を求めてドルポからチベットに入る『西藏旅行記』(1904年)出版
2004年に発見された日記(堺市博物館蔵)を展示

1958年/西北ネパール学術探検隊(隊長：川喜田二郎)

ドルポのツァルカ村で約3カ月調査、『鳥葬の国』(1960年)出版
収集した資料や写真、データカードは国立民族学博物館が所蔵

1968年/西部ネパール民族文化調査隊(隊長：田村善次郎)

ドルポのボンモ村で約2カ月調査
『ヒマラヤ旅日記』(2025年)出版
収集した民具は、武蔵野美術大学 美術館・図書館 民俗資料室所蔵、借用して展示

2007年～/稲葉香

ドルポを歩いてきた美容師・ドルポ探求家・写真家
2020年植村直己冒険賞を受賞
『ドルポ』(2024年)出版
珠玉の写真を展示



粉練り (1958年、ツァルカ村、西北ネパール学術探検隊、H0029082・H0029205)



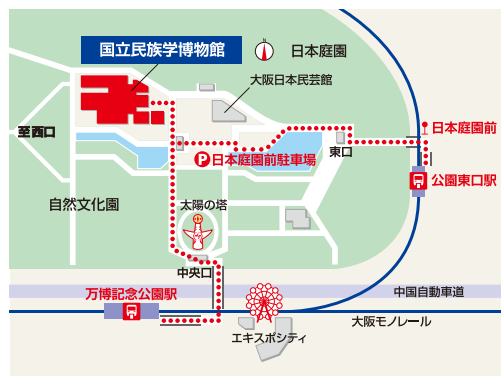
河口慧海 (1904年『西藏旅行記 下巻』博文館より)



仮面 (1968年、ボンモ村、西部ネパール民族文化調査隊、武蔵野美術大学蔵M001501)



リグモ(フォクスンド)湖 (2025年、撮影：南真木人)



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

〒565-8511
大阪府吹田市千里万博公園10番1号
Tel: 06-6876-2151(代) Fax: 06-6875-0401
https://www.minpaku.ac.jp/



関西から

文化力
POWER OF CULTURE